

茨城工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	情報ネットワーク
科目基礎情報				
科目番号	0103	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位II: 2	
開設学科	電子情報工学科(2016年度以前入学生)	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1	
教科書/教材	資料配布			
担当教員	児玉 隆一郎,中屋敷 進			
到達目標				
1.ネットワーク・アーキテクチャの階層モデルと、各層での基礎的な通信技術を理解できる。 2.通信階層間の相互的な関連性を理解できる。 3.様々なシステムを構成する基盤となる通信技術を理解できる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	ネットワーク・アーキテクチャの階層モデルを、情報システムの構成技術に応用できる。	ネットワーク・アーキテクチャの階層モデルと、各層での基礎的な通信技術を理解できる。	ネットワーク・アーキテクチャの位置付けを理解できない。	
評価項目2	通信階層間の相互的な関連性を応用できる。	通信階層間の相互的な関連性を理解できる。	通信階層間の相互的な関連性を理解できない。	
評価項目3	様々なシステムを構成する基盤となる通信技術を応用できる。	様々なシステムを構成する基盤となる通信技術を理解できる。	様々なシステムを構成する基盤となる通信技術を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 (A)(イ) 学習・教育到達度目標 (B)(ロ)				
教育方法等				
概要	情報化社会を構成する基盤であるネットワーク技術について体系的かつ網羅的に学ぶ。 情報ネットワークの発展が、社会の利便性向上や個人の生活品質向上などに及ぼす影響について学ぶ。			
授業の進め方・方法	講義テキストの内容を復習するとともに、講義に関する課題等について予習しておくこと。システムは情報を互いにやり取りすることで成り立つ。多くのものが情報を発信する環境になりつつある中で、ここで学んだ知識を技術分野を問わず様々な情報ネットワークシステムの創造に生かしてほしい。			
注意点				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	情報社会とネットワーク	
		2週	情報ネットワークの仕組み	
		3週	ネットワーク・サービス	
		4週	ネットワーク通信システム	
		5週	ネットワーク階層モデル	
		6週	ネットワーク・アーキテクチャ	
		7週	応用レイヤー	
		8週	トランスポート・レイヤー(1)	
後期	2ndQ	9週	トランスポート・レイヤー(2)	
		10週	ネットワーク・レイヤー(1)	
		11週	ネットワーク・レイヤー(2)	
		12週	ネットワーク・レイヤー(3)	
		13週	ネットワーク・レイヤー(4)	
		14週	1週から13週までの復習	
		15週	(期末試験)	
		16週	総復習	
後期	3rdQ	1週	データ・リンク・レイヤー(1)	
		2週	データ・リンク・レイヤー(2)	
		3週	物理レイヤー	
		4週	LAN(ローカル・エリア・ネットワーク)(1)	
		5週	LAN(ローカル・エリア・ネットワーク)(2)	
		6週	WAN(ワイド・エリア・ネットワーク)	
		7週	(中間試験)	
		8週	モバイルネットワーク(1)	
後期	4thQ	9週	モバイルネットワーク(2)	
		10週	マルチメディア通信ネットワーク	
		11週	ネットワーク・セキュリティ	
		12週	ネットワーク運用と管理(1)	

	13週	ネットワーク運用と管理(2)	ライフ・サイクル管理とサービス・レベル管理
	14週	様々なネットワーク	クラウド, 光, マルチメディア, センサー・ネットなど
	15週	(期末試験)	
	16週	総復習	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0